

あなたが政治の主人公  
日本共産党とご一緒に

# 後援会だより

発行／南部・門真団地日本共産党後援会  
事務所・千石東町 34-1 Tel.885-2832  
亀井あつし・千石東町 24-10 Tel.883-9871  
2009年8月 No.137 部内資料



「党と後援会のつどい」 8月9日  
総選挙勝利にむけ、気持ちを一いつにした  
意気高い集会になりました！

総選挙告示まであと10日という緊迫したなかでひらかれた「つどい」です。小雨の天候でしたが、会場いっぱい参加者でした。

新井後援会会長の開会あいさつのあと、大きな拍手でむかえられた「やの博之」六区予定候補が決意表明：守口市会議員としてがんばってきたこと、労働組合で不当労働行為とたたかってきた経験を力にして、「この総選挙で自公政権を退場させ、共産党の躍進で国民の暮らしを守る新しい日本の進路をきりひらこう」と決意を語られました。

ついで3名の報告者が自らの経験をふまえ、共産党の前進の意義を語られました。参加者の方の感想を紹介します。

「みどり診療所の介護責任者、矢野さんのお話で介護にあたっておられるみなさんのご苦労がよくわかりました。共産党の政策『安心して利用できる介護制度への抜本的見直し』も紹介され、なるほどと思いました」（島頭にお住まいのFさん）

元大建労働門真支部の組合員で大工のSさん（千石東町）は、「フロンティア産業の小田島会長は左官屋さんをはじめ建設業の経営のきびしさを語られ、その通りとうなづいて聞き入りました」

「元守口の中学で先生をしてもらった針田先生の話はよかったですね。格差と貧困の持ちこまれた教育現場での子ども、先生、父兄の気持ちがよくわかりました。修学旅行に貧し

くて参加できない子、調子の合わない笛を100円ショップで買わざるをえない子ども、話には胸がつまりました」と語る千石西町のMさん。

「つどい」は最後に新井会長から「対話・支持拡大を広げてください」との訴え。資料で渡した『紹介カード』を示しながら「みなさんのご家族お知り合いの方に比例区は共産党とお願いをしてください。そしてこのカードにご記入いただきどしどしお寄せください」

さあ がんばるぞ！の決意をこめて散会しました。



(文責・福山)

「つどい」のもたれた8月9日は長崎に原爆の落とされた日です。報告者はそれぞれ平和への思いを語られました。

「子や孫に平和をプレゼントしようと思えば共産党を大きくしましょう」

「私は50年間、選挙では共産党にいられてきました。それは共産党が憲法九条を守り、平和の問題ではぶれないからです」

「長崎では原爆の落とされた年内に七万人もの人が苦しんで亡くなりました。みなさん、門真の人口が現在約十四万人です。なんと門真の半分の人口が原爆で命を落としたのです」

多くの方々から「1コイン募金」をいただきありがとうございます。引き続きよろしくお願ひします。

北河内南地区委員会  
南部・門真団地後援会

終盤の勝負どころ  
やの博之個人演説会  
8月26日(水)午後7時より  
ルミエールホール 小ホール

比例代表は「日本共産党」と政党名を  
小選挙区は候補者名をお書き下さい

選挙制度の詳しい説明は裏面をどうぞ